

迎

春

頼珍達・数人様宛

初明り  
この一冊と  
迎える一年  
紫  
卯

先の因船籠を詠む

年賀状  
今か今かと  
待ちわびる  
酉

背伸びして  
夢へと結ぶ  
初みくじ  
遊  
亀

読み返し  
思案の腫  
山笑ふ  
多作一景

初刷りの  
新聞ごと  
届きたり  
浮  
駒

本の海に  
心と洗う  
春時雨  
者  
義

落葉の  
芽もさざめきて  
春の朝  
日向雅

初春に  
急事を絵馬にて  
願いたり  
多誤作

祝い酒  
賢慮求めて  
門たたく  
多  
聞

寝正月  
本を開けば  
初富士が  
高砂

書初めに  
込めた願いは  
『今年こそ』  
欽  
作

京の冬  
こたつと本と  
梅昆布茶  
Alcoholic



これらの俳句は本学園の学生・教職員の方々から投句いただいたものです。